

日本海新聞ふるさと大賞 受賞者紹介

☎ 第二庁舎体育課 ☎ 0857-20-3371
本庁舎協働推進課 ☎ 0857-20-3182

本市と日本海新聞ふるさと創り事業団、新日本海新聞社、日本海新聞販売店会の共催により、昨年1年間でスポーツ振興と地域に貢献されたみなさんを顕彰する「日本海新聞ふるさと大賞」の受賞者が決まりました。



スポーツ功労賞受賞者

宇佐美里香さん（鳥取市：空手道）

9月のぎふ清流国体で四連覇の偉業に加え、11月にパリで開催された世界空手道選手権大会で念願の初優勝をされました。

前島浩二さん（気高町：陸上競技）

7月にカナダで開催された第2回世界ろう者陸上選手権大会INトロントに日本代表選手として出場され、男子やり投げの部で5位に入賞されました。

前島博之さん（気高町：陸上競技）

兄の浩二さんと兄弟そろって第2回世界ろう者陸上選手権大会INトロントに日本代表選手として出場され、男子走り高跳びの部で5位に入賞されました。

山本明良さん（鳥取市：バドミントン）

長年にわたり、鳥取三洋電機バドミントン部の監督兼部長や国体成年女子の監督を務め、国体をはじめ日本リーグや全国大会など優秀な成績に導きました。また、ジュニア選手の技術指導にも積極的に取り組み、県内のバドミントン競技力向上に尽力しています。

地域貢献賞

河原地区ボランティアリーダー会 代表：にしお ひとし 均さん

地域の教育力向上と子どもたちのボランティア事業や体験活動を推進することを目的に結成。食育の一環として農業体験活動のほか、ナイトハイキングなどのレクリエーション活動も行っています。

河原町民俗行事を語る会 会長：たに ゆきひろ 幸彦さん

同町の民俗資料館の有効活用と無病息災を願う七草粥や五穀豊穡を祈る鳥追いなどの失われつつある民俗行事や伝統芸能を伝承するなど地元文化振興に寄与しています。

大村おう穴愛護会 代表：もりた えつお 悦雄さん

千代川にそそぐ小河川・赤波川に分布する「赤波川おう穴群」の景観を守り、環境保全を図るため、地域住民が中心となり、草刈りやゴミ拾いなどの清掃活動を行っています。

明日の湖南を考える会 代表：ひおきし げお 重雄さん

地元の歴史と文化を探り検証することを重点として、吉岡1号墳の再発掘調査や歴史的ポイントに標柱や案内板を設置するなど史跡の維持管理活動を続けています。

鳥取市立病院で胃がんリスク検診が始まります

☎ 鳥取市立病院 健診センター ☎ 0857-37-1540（直通）☎ 0857-37-1522（病院代表）

鳥取市立病院健診センターでは、4月から胃がんリスク検診を開始します。

胃がんは、日本人のがん死亡の第2位を占めており、ピロリ菌感染によって胃粘膜が萎縮して、がんが発生することが分かっています。

胃がんリスク検診は、「ピロリ菌感染」と「萎縮性胃炎」を調べて、胃がんになりやすいかどうかを判定します。**血液検査で分かる**ので、胃内視鏡検査やバリウム検査を敬遠している人も受けやすく、胃内視鏡検査をどれくらいの間隔で受ければよいのかの参考にもなります。

《検査料金》

- ・人間ドックオプション 2000円（税込み）
- ・胃がんリスク検診単独 4000円（税込み）

《検査結果》

ピロリ菌抗体検査とペプシノゲン検査の結果でA-Dに分類し、胃がんになりやすいかどうかを判定します。

①要精密検査と判定された人は、保険診療で消化器センターでの二次健診受診となります。予約は1週間前までに健診センター（☎0857-37-1540）まで。

②結果票は3～4週間以内にお届けします。

③ピロリ菌感染が認められた場合、胃内視鏡検査で萎縮性胃炎と診断されれば、保険診療で除菌ができるようになります。

		ピロリ菌抗体検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査	陰性	A:胃がんリスクほとんどなし	B:胃がんリスクあり
	陽性	D:胃がんリスクすごく高い	C:胃がんリスク高い

※胃がんリスク検診は、胃がんになりやすいかどうかを判定するものであり、胃がんそのものを発見する検診ではありませんのでご了承ください。

※喫煙、飲酒、がんの家族歴などのがんの発生リスクの高い人や、不安な人は胃内視鏡検査をお勧めします。

ご不明な点がございましたら、健診センターまでお問い合わせください。



自治会活動が育む“人” と“ひと” との支え愛・助け愛

☎ 鳥取市自治連合会事務局 ☎ 0857-20-0100、本庁舎協働推進課 ☎ 0857-20-3171

現在、鳥取市には約850の自治会（町内会）があります。それぞれの自治会では、一人ひとりの繋がりを強めて、自治会が抱える諸課題を解決し、みんなが楽しく暮らせるコミュニティづくりをめざした取り組みが進められています。具体的には、防災・防犯、交通安全、高齢者支援、青少年育成、環境美化などさまざまな身近な課題に、みんなで知恵を出し合い協力しあって取り組んでいます。

自治会活動のメリットとして、行政や地域の生活に必要な情報が効率的に共有できること、親睦行事などに参加することで、コミュニティの連帯感が一層高まり、安心感が生まれることがあげられます。

また、地区公民館エリアを単位とした、行政との協働のまちづくり活動が推進されていますが、その要となる活動は、「自助」「共助」「公助」の視点に立った住民の自立的活動の定着です。

そのためには、お互いに手を取りあって「支え愛・助け愛」ができる自治会活動に参加していただくことが大切です。

★自治会への加入は、お住まいの地域の自治会長（町内会長）にお問い合わせください。新たに町内会を設立する場合も同様です。不明な点は、鳥取市自治連合会事務局まで。

～新しい町内会のご紹介～

青谷インターから日置川沿いに上流に向かって2～3分ほど車を走らせると、左側に見えてくる町が、このたび新しく加入された「望町」です。



望町の風景

この望町団地は、40区画あり、現在15世帯が住んでおられ、全世帯で町内会を結成されました。おかげさまで、青谷町は全町内会が自治連加入となりました。

青谷地区会長 房安一也

市庁舎整備に関する取り組み

～鳥取市庁舎整備専門家委員会において議論を進めています～

☎ 本庁舎庁舎整備局 ☎ 0857-20-3012

「鳥取市庁舎整備専門家委員会条例」に基づく鳥取市庁舎整備専門家委員会について、これまで開催された委員会での議論についてお知らせします。

《専門家委員会の役割》

平成25年1月16日に公布された「鳥取市庁舎整備専門家委員会条例」において、委員会は、庁舎整備に関し、「庁舎の果たすべき役割及び機能」「庁舎整備の基本的な方策及び効果」などについて、「専門的立場から客観的な視点で必要な調査及び審議を行う」とされており、委員会は、あらゆる選択肢を排除することなく議論を尽くし、市が整備方針を決定するうえで、判断材料となる資料を提供することを確認しています。

《庁舎の果たすべき役割・機能》

委員会においては、これまで市や市議会が行った調査・検討の経過と結果は活用しながら、すでに調査・検討された市庁舎整備案について、比較表の整理を進め、客観的な説明資料として、市民の皆さんにも分かりやすいものとしてまとめていくこととしています。

そのうえで、あらゆる選択肢を排除することなく、市庁舎の役割・機能、庁舎整備の方策・効果について議論を進めます。

《市民の意向の把握》

現段階において、市民の皆さんが市庁舎の整備に関して、どのような関心や関わりを持ち、どのような理由によって、どのような意見や意識をもっているかを把握し、併せて、市民の皆さんの関心や理解を深めていくこととしています。

《委員会の情報発信》

委員会での議論については、いなびりネットワークでの録画放送や、鳥取市インターネット放送局での公開、専門家委員会ニュースの発行などにより、できる限りの情報発信を行っています。また、今後、多くの市民の皆さんに傍聴いただけるよう、委員会の休日開催について、日程の調整を行っています。



鳥取市庁舎整備専門家委員会開催経過

第1回	平成25年1月31日（木） ▷委員長・委員長代理の選出 ▷今後の進め方について
第2回	平成25年2月12日（火） ▷既に調査・検討された4つの市庁舎整備案の整理
第3回	平成25年2月22日（金） ▷既に調査・検討された4つの市庁舎整備案の整理
第4回	平成25年3月8日（金） ▷既に調査・検討された4つの市庁舎整備案の整理 ▷比較の視点・イメージについて など